

競技規則に基づく競技者への注意事項（ローカルルール含む）

東京スキー協議会 第38回東京競技大会実行委員会

会員向け

1.用具、服装等

特に定めないが、一般に市販されているものの範囲内であり、安全であることを原則とする。

また、頭部保護のためヘルメットの着用が望ましい。ヘルメットがない場合でも、帽子は必ず着用すること。
また、チンガード・パンチガードは安全確保の面から使用しないことが望ましい。

2.スタート順位

1本目、2本目とも大会プログラムの出走順による。なお、1本目、DS・DQ・DFの人も2本目の出走は可能とする。その場合も大会プログラムの順とする。

3.インスペクション（コースの下見）

定められた時間内（20分間）にインスペクションを行う。インスペクションは上からでも下からでもよいが、以下の点に注意をする。

- ① 係員の指示に従うこと。
- ② ゼッケンは前後からゼッケン番号がわかるように着用すること。
- ③ 開始時間から10分を経過した後にコースに入場しないこと。
- ④ スキー・スノーボードを履いて行うこと。
- ⑤ 上から行う場合、スキー板を平行にして2旗門以上滑らないこと。
- ⑥ コースの横を旗門セット通り2旗門以上なぞって滑らないこと。
- ⑦ 終了時間となった時は、速やかにコースから離れること。

4.スタート地域への集合

- ① 定められた時間（各部の競技開始予定時間の10分前）までにスタート地域に集合し点呼を受ける。点呼はスタートハウス横で行います。
- ② スタート時間にスタートできなかった場合は失格となる。ただし、競技委員会が特に認めたものは除く。

5.スタートの合図

電気計時器の発信音の合図によってスタートする。実際は数秒間の時間のうちに自分により条件でスタートできる。発信音については、スタート係からの指示を受ける。

ただし、前走者のトラブル等でスタートすることが危険と思われる場合は、スタート係に申告し、スタートを中止することができる。

6.旗門の通過

旗門は赤・青とそれぞれ交互に構成され、同色ボールの旗門線をスキーの両先端と両足で横切れれば通過となる。一本のスキーを失った場合、残りのスキーの先端と両足が旗門線を通過しなければならない。

7.フィニッシュ

「フィニッシュ」と書かれた横幕が2本の柱に結ばれて表示される。この2本の柱を結び最短線＝フィニッシュ・ラインをスキーの両先端と両足で横切れれば通過となる。一本のスキーを失った場合、残りのスキーの先端と両足が旗門線を通過しなければならない。

8.失格事由

- ① 偽ってレースに出場した場合
- ② 人や所有物の安全を危険にさらした場合
- ③ スキーの両先端等と両足が旗門線を横切るといふ正しい旗門の通過をしなかった場合
- ④ どんな形でも、第三者の援助を受けた場合（ただし、競技遂行のため旗門委員が危険回避のために行う行為は当事由に該当しない。）
- ⑤ コースインスペクション中、スキーを平行にして2旗門以上滑ったり、コースの横を旗門セット通りに2旗門以上なぞって滑った場合

- ⑥ 規定通りのスタートナンバー（ゼッケン）を着けなかったり、それを修正した場合
- ⑦ スタートに遅れたり、不正なスタートをしたり、またはスタート規則に違反した場合
- ⑧ 競技用に閉鎖されたコースで練習したり、またはジュリーの指示に違反した場合
- ⑨ 追抜こうとする競技者に、最初の呼びかけでコースを譲らなかった場合
- ⑩ 競技中、他の競技者を妨害した場合
- ⑪ 明らかに旗門不通過後、その先の旗門を通過した場合
- ⑫ スキーの両先端等と両足でフィニッシュ・ラインを横切らなかった場合
- ⑬ スキーで完走しなかったり、またはゴールインしなかった場合
- ⑭ 両方のスキー板が外れた場合
- ⑮ 再レースの要求が、不当であると判断された場合

9. 競技中の妨害と再レース

- ① 競技中に明らかに妨害を受けた場合は、直ちに滑走を中止しコースをはずれ、一番近くにいる旗門審判委員に報告し再レースを要求する。裁定を経て再レースできる。
- ② 前の走者に追いつくなど、自己のコントロールでは避けられないタイムロスなどの妨害があった場合は、再レースを要求できる。その場合は、直ちに滑走を中止しコースをはずれ、一番近くにいる旗門審判委員に報告し再レースを要求する。裁定を経て再レースできる。
- ③ 抗議時間は競技者のスタート後 5 分とします。速やかにジュリーに申し出てください。ジュリーは、スタート地点及びゴール地点に待機しています。
- ④ 再レースをした場合は、再レースのタイムだけが有効となる。
- ⑤ 再レースの場合は、適宜スタートする。

10. 途中棄権、あるいは明白な旗門不通過の場合

競技者は、その後の旗門を通過してはならない。また、フィニッシュ・ラインの通過もしてはならない。

11. タイム及び順位成績の公示

- ① 競技後、速やかに非公式タイムとして電光計時される。時計の不具合によっては、再走となることがあるので、電光掲示板の仮タイムを確認してから、ゴールを離れること。
- ② 各部の競技終了後、裁定を経た上で公式タイム及び順位が発表される。

12. その他

- ① 競技ルールにない問題が発生した場合は、裁定委員会が競技し判定する。
- ② 大雪等で競技中断、および中止となる場合があります。また、大会スケジュールに変更がある場合は、放送・掲示によりお知らせします。掲示場所は、スタート地点、スキー学校前を予定しています。
- ③ その他競技規則は、SAJ 最新版規則を準用する
- ④ スノーボードもスキーのルールに準ずる。
- ⑤ 1 本目、2 本目の競技終了後セットの撤収を行います。男子 1 部及び 2 部の選手は男子 1 部競技終了後スタート地点に集合してください。
- ⑥ ゼッケンは 1 日目、2 日目の各日の競技終了後に回収します。
- ⑦ 表彰式は 1 日目を舞子観光協会・ふれあい館で 16：30 より、2 日目をスキー学校前にて 15：00～開催します。
- ⑧ 交流会の参加費は、エントリー代に含まれております。選手の皆さんは、ぜひ参加ください。なお、選手以外の方は、500 円を徴収します。当日はエントリー者及び交流会の参加者の中で抽選会を行います。抽選券を会場にて一人一枚配布します。(参加していない方の分はありません。)